

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		4,864	t-CO ₂
①温室効果ガス換算排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素 (③を除く。)		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素 (発電所等配分前)		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量 (①~⑩合計)		4,864

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率 (対 基準年度)		%		%		%		%	
温室効果ガスみなし総排出量			t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率 (対 基準年度)		%		%		%	

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの排出量	0.02698	kg-CO ₂ / 個	0.02617	kg-CO ₂ / 個	0.02706	kg-CO ₂ / 個	0.02659	kg-CO ₂ / 個	0.02659	kg-CO ₂ / 個
削減率 (対 基準年度)		3.0	%	▲ 0.3	%	1.4	%	1.4	%
原単位あたりのみなし排出量			kg-CO ₂ / 個		kg-CO ₂ / 個		kg-CO ₂ / 個
削減率 (対 基準年度)		%		%		%	

(2) 進捗状況に対する自己評価 (目標の達成/非達成の理由)

社員の方々にきるだけ快適な環境で仕事をしてもらうため、エアコンや暖房の整備を推進しました。
 その中で空調服・温熱ベスト等の導入も並行して推進し使用量を抑える試みをしましたでしたが目標までは届きませんでした。
 炉の断熱や燃焼制御も推進しましたが、目標まで届きませんでした。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
ガス使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気漏れを無くす。 ・焼成炉の熱漏れ改善。 ・配管、バルブを保温の徹底。 ・スチームトラップ点検。 		<ul style="list-style-type: none"> ・焼成炉バーナー本数の燃焼コントロールを実施。 ・スチームトラップ毎月点検。 ・配管、バルブの保温状態点検。 ・断熱材の更新
電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・照明をLED化、照明はこまめに消灯する ・古い機器を省エネタイプに交換する。 ・機械の運転工程を見直しムダな消費をやめる ・デマンドコントローラーによる負荷の平準化 		<ul style="list-style-type: none"> ・全ての照明をLEDに変更。 ・消灯しやすいようにまとめて消灯できるスイッチの追加 ・帰宅時にエアーを元から落とせるようにバルブの設置
電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機器の管理設定温度 ○冷房26℃以上、暖房20℃以下 ・空調機フィルターの定期清掃 		<ul style="list-style-type: none"> ・空調の温度管理実施 ・フィルター掃除（春、秋実施） ・食堂の照明・空調の更新 ・工場内一部の照明をセンサー式に変更
廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別、リサイクル化し廃棄物を減らす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別の徹底。
電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> エアー漏れを無くす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・エアー漏れの早期発見、随時修理。
電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプの流量調整をインバーター化 		未実施
見える化	<ul style="list-style-type: none"> ・各職場電気メーター取り付け 		未実施

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

毎月8日は帰宅時の消灯・設備電源OFFの確認を実施している。
